




Dell Command | Configure バージョン 3.2 リリースノート



メモ、注意、警告

-  **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

目次

リリースの種類と定義	5
バージョン.....	5
リリース日.....	5
前のバージョン.....	5
重要	6
影響を受けるプラットフォーム	7
対応オペレーティングシステム	8
本リリースの新機能	9
修正	11
32 ビットアプリケーションの MSVCR110.dll および MSVCP110.dll の依存関係を削除.....	11
修正：CLI 単体のインストールにおいて HAPI ドライブライブライリが見つからない問題を解決.....	11
修正：エラーコードの修正.....	11
既知の問題	12
既知の問題：コマンドラインインタフェース.....	12
問題：再インストール/アップグレード後の Dell Command Configure を使用できません.....	12
問題：ASM (advsm) オプションがプローブの現在のステータスを表示しません.....	12
問題：Windows 7 がデジタル署名の有効性を認識しません.....	12
問題：BIOS インタフェースが見つかりません.....	12
問題の説明：.ini ファイルの infile または outfile オプションを使用しないでください.....	12
問題の説明：Dell Command Configure はアセットセット操作では、シングルバイト文字のみサポートします.....	12
問題：TPM 関連のトークンを別々に変更できる.....	12
問題：依存オプションが、レガシーオプション ROM と安全起動のための UEFI モードで設定された通りに機能しない.....	12
問題：Blinkpsu1led と Blinkpsu2led が .ini ファイルまたは SCE にない.....	13
問題：advsm オプションがステータスをその他として表示する.....	13
問題：アドバンスバッテリー充電とピークシフト充電オプションが無効と表示する.....	13
問題：アドバンスシステム管理オプションの温度プローブが不明として表示される.....	13
問題：アドバンスシステム管理のオプションをサポートする一部のプラットフォームで、メモリセンサー 2 の温度プローブが現在のステータスを正常ではなく非クリティカルとして表示する.....	13
問題：アドバンスシステム管理オプションをサポートする一部のプラットフォームで、冷却装置の非クリティカルな上限値を設定すると、CLI はアクションに失敗したことを示しているが、同じ設定は成功している.....	13
問題：.ini ファイル/SCE で ASM (advsm) BIOS オプションを設定することができない.....	13
既知の問題：グラフィカルユーザーインタフェース.....	13
問題：システム .xml で予期しないエラーが発生する.....	13
問題：予期しないエラー.....	13
問題：マルチプラットフォームに X マークが表示される.....	14
問題：.cctk をダブルクリックして GUI を開くと設定が表示されない.....	14
問題：Internet Explorer バージョン 7 以前ではフィードバックリンクが機能しない.....	14
インストールの必要条件	15
Windows のインストールの前提条件.....	15
Linux のインストールの前提条件.....	15
インストール、アップグレード、およびアンインストール手順	16



インストールおよび設定の注意	17
Windows インストールの場合.....	17
問題 : Dell Command Configure が CCTK の前のバージョンにダウングレードされる可能性があり、好ましくない状況に つながる場合があります。.....	17
Linux インストールの場合.....	17
問題 : HAPI RPM のアンインストール中に、ファイルがないことを示す警告メッセージが表示される.....	17
デルへのお問い合わせ	18

リリースの種類と定義

Dell Command | Configure (以前の Client Configuration Toolkit または CCTK として知られている) は、サポートされた Microsoft Windows および Linux オペレーティングシステムを実行している OptiPlex、Latitude、Venue Pro Tablet、XPS Notebook、および Dell Precision などの Dell クライアントシステムに BIOS 設定機能を提供するパッケージソフトウェアです。グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) またはコマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、クライアントシステムを設定することができます。

Red Hat Enterprise Linux などの Linux オペレーティングシステムおよび Ubuntu Desktop を実行しているシステムに Dell Command | Configure を使用できます。さらに、Dell Command | Configure は、Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、および Windows 10 オペレーティングシステム、および Windows Preinstallation Environment (Windows PE) をサポートしています。

バージョン

3.2

リリース日

2017 年 1 月

前のバージョン

3.1.2



重要

推奨事項 : デルは、次にスケジュールされているアップデートサイクル中にこのアップデートを適用することをお勧めします。アップデートには機能の強化、またはシステムソフトウェアの最新性と他のシステムモジュール (ファームウェア、BIOS、ドライバおよびソフトウェア) との互換性の維持につながる変更が含まれます。

影響を受けるプラットフォーム

- Optiplex
- Latitude
- Venue Pro タブレット
- XPS ノートブック
- Precision



対応オペレーティングシステム

Dell Command | Configure は、次のオペレーティングシステムをサポートします。

- Microsoft Windows 10 Core (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 10 Pro (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 10 Enterprise (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 Enterprise (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 Professional (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8 Enterprise (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8 Professional (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Professional SP1 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Ultimate SP1 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 10 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット)(Windows PE 10.0)
- Windows 8.1 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット)(Windows PE 5.0)
- Windows 8 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット)(Windows PE 4.0)
- Windows 7 SP1 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット)(Windows PE 3.1)
- Windows 7 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット)(Windows PE 3.0)
- Dell Precision ワークステーション用 Red Hat Enterprise Linux 7.0 クライアントバージョン (64 ビット)
- Dell Precision ワークステーション用 Red Hat Enterprise Linux 6.4 クライアントバージョン 6.0 (64 ビット)
- Dell Precision ワークステーション用 Red Hat Enterprise Linux Client 6.2 クライアントバージョン (64 ビット)
- Ubuntu Desktop 16.04 (64 ビット)

本リリースの新機能

本リリースの新機能は以下をサポートします。


- 新しいプラットフォーム
- SMBIOS 3.0 のサポート
- Linux のデフォルトのインストールパスを /opt/dell/dcc に更新しました。
- 次の新しい BIOS 機能/属性のサポート：
 - UEFI 起動リストが失敗したときに BIOS がレガシー起動リストからの起動を試みるかどうか判断します。--attemptlegacyboot オプションを参照してください。
 - アクティブステート電源管理 (ASPM) レベルを設定します。--aspm オプションを参照してください。
 - BIOS の破損が検出された場合、ユーザーが操作することなく BIOS の自動リカバリを設定します。--biosautorecovery オプションを参照してください。
 - BIOS 接続機能を設定します。--biosconnect オプションを参照してください。
 - 使用可能な BiosConnect ブートパスの状態を設定します。--biosconnectactivation オプションを参照してください。
 - システム BIOS のダウングレードを許可または制限します。--biosdowngrade オプションを参照してください。
 - 起動プロセス中に BIOS 整合性チェックを設定します。--biosintegritycheck オプションを参照してください。
 - BIOS イベントログの次回起動時の消去を許可または制限します。--bioslogclear オプションを参照してください。
 - BIOS 設定の可視性を設定します。--biossetupadvmode オプションを参照してください。
 - AC アダプタがシステムに接続されているときに、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。--brightnessac オプションを参照してください。
 - システムがバッテリー電源のみを使用しているときに使用するパネルの輝度を設定します。--brightnessbattery オプションを参照してください。
 - CPU での信頼性、可用性、保守性 (RSA) サポートを設定します。--cpursa オプションを参照してください。
 - スヌープモードを設定します。--cpusnoop オプションを参照してください。
 - プラットフォームの外部表示を設定します。--dgpuxterndisplay オプションを参照してください。
 - ドックのバッテリーの充電モードを設定します。--dockbattchrgcfg オプションを参照してください。
 - バッテリーが指定の割合よりも多く充電されているときに AC 電源がない場合にドッキングステーションの使用を許可または制限します。--docksupportonbattery オプションを参照してください。
 - ファンの速度がファン速度属性を使用して自動に設定されている場合にファン速度制御を設定します。--Fanspeedctrllevel オプションを参照してください。
 - 次回起動時にフォルトトレラントのメモリログをクリアするかどうかを設定します。--faulttolerantmemlogclear オプションを参照してください。
 - BIOS POST 中に表示される全画面のロゴを設定します。--fullscreenlogo オプションを参照してください。
 - GPS WWAN 無線を設定します。--gpsonwwanradio オプションを参照してください。
 - システムのアイソクロナスモードを設定します。--isochronous オプションを参照してください。
 - AC アダプタがシステムに接続されているときに、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。--kdbacklighttimeoutac オプションを参照してください。
 - システムをバッテリー電源のみで実行しているときに、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。--kdbacklighttimeoutbatt オプションを参照してください。
 - リッドスイッチ機能を設定します。--lidswitch オプションを参照してください。
 - 液体冷却装置 1 および液体冷却装置 2 を設定します。--liquidcooler1、および --liquidcooler2 オプションを参照してください。
 - M2 PCIE SSD 0 および M2 PCIE SSD 1 を設定します。--m2pciessd0、および --m2pciessd1 オプションを参照してください。
 - マスターパスワードを設定します。--masterpwdlockout オプションを参照してください。
 - メモリのフォルトトレランスの時間制限値を設定します。--memfaulttoltimefmt オプションを参照してください。
 - メモリモジュール上の信頼性、可用性、保守性 (RSA) サポートを設定します。--memoryrsa オプションを参照してください。
 - メモリ性能の監視機能を設定します。--memperformancemonitor オプションを参照してください。



- PCIe デバイス上の信頼性、可用性、保守性 (RSA) サポートを設定します。--pciersa オプションを参照してください。
 - 電源イベントログを次回起動時にクリアすることを許可または制限します。--powerlogclear オプションを参照してください。
 - Intel 8260 カードのステルスモード制御を設定します。--poweroffintel8260stealthmode オプションを参照してください。
 - Dell リカバリツールを設定します。--recoverytool オプションを参照してください。
 - システムを SD カードから起動することを許可または制限します。--sdcardboot オプションを参照してください。
 - SD カードの読み取り専用モードを設定します。--sdcardreadonly オプションを参照してください。
 - Secure Guard Extensions (SGX) 機能を設定します。--secureguardext オプションを参照してください。
 - POST 中に電源ボタンが押されたことを示します。--signofflifeindication オプションを参照してください。
 - オペレーティングシステムでいずれのスリープモードを使用するか決定します。--sleepmode オプションを参照してください。
 - 特定のシステムエラーの発生時に、SupportAssist OS リカバリツールの起動フローを設定します。--supportassistosrcvry オプションを参照してください。
 - サービス OS の不揮発性の領域を削除します。--svcosclear オプションを参照してください。
 - 温度イベントログを次回起動時にクリアすることを許可または制限します。--thermallogclear オプションを参照してください。
 - システム内の Thunderbolt コントローラを設定します。--thunderbolt オプションを参照してください。
 - Thunderbolt のセキュリティレベルを設定します。--thunderboltsecuritylevel オプションを参照してください。
 - タイプ C コネクタの最大電力を設定します。--typecbrtryovrldprotection オプションを参照してください。
 - F12 ブートメニューから UEFI ブートパスを起動しているときに、管理者パスワード (設定されている場合) を入力するよう要求するかどうか決定します。--uefibootpathsecurity オプションを参照してください。
 - USB ストレージデバイスから Intel AMT のプロビジョニングを設定します。--usbprovision オプションを参照してください。
 - システムの s4 電源の状態からの USB ウェイクを設定します。--usbwakefroms4 オプションを参照してください。
- 次の属性について考えられる追加の値のサポート：
 - --cpucore
 - --speaker
 - --primaryvideodeviceslot
 - --processorcorecount
 - 次の属性についてのサポートの中止：
 - --clearsel
 - --speakervol

 **メモ:** CLI オプションに関する詳細については、dell.com/dellclientcommandsuite/manuals で入手できる『*Dell Command / Configure* コマンドラインインタフェースリファレンスガイド』を参照してください。

修正

 **メモ:** 以下の修正は、Dell Command | Configure 3.2.0 A00 に対してのみ行われています。Dell Command | Configure 3.2.0 A00 がシステムに既にインストールされている場合は、Dell Command | Configure 3.2.0 A00 をアンインストールしてから Dell Command | Configure 3.2.0 A01 をインストールしてください。A01 の DUP は Systems-Management_Application_<SWB>_WN32_3.2.0.<build number>_A01.exe です。

32 ビットアプリケーションの MSVCR110.dll および MSVCP110.dll の依存関係を削除

説明: The program cannot start because MSVCR110.dll or MSVCP110.dll are missing from your system (MSVCR110.dll または MSVCP110.dll がシステム内にないため、プログラムを開始できません) というエラーメッセージが表示されていました。この問題は解決済みです。Dell Command | Configure 3.2 は MSVCR110.dll および MSVCP110.dll に依存していません。

修正 : CLI 単体のインストールにおいて HAPI ドライブライブラリが見つからない問題を解決

説明: CLI 単体のインストールにおいて、ユーザーが任意のコマンドを実行しようとした場合、Dependent HAPI driver libraries are missing (HAPI ドライバ依存ライブラリが見つかりません) および Error in initializing HAPI interface library (HAPI インタフェースライブラリの初期化中にエラーが発生しました) というエラーメッセージが表示されていました。この問題は解決済みです。

修正 : エラーコードの修正

説明: 一部のエラーコードが、既存のエラーコードと一致していませんでした。誤ったエラーコードは修正済みです。

既知の問題

既知の問題 : コマンドラインインタフェース

問題 : 再インストール/アップグレード後の Dell Command | Configure を使用できません

説明 : 再インストール中に **dcdbus** モジュールがロードされない可能性があるため、Ubuntu Desktop 16.04 での再インストール/アップグレード後に Dell command | Configure が作動しない可能性があります。

解決策 : 次のコマンドを実行して、モジュールをロードします。

```
insmod <filename>
```

問題 : ASM (advsm) オプションがプローブの現在のステータスを表示しません

説明 : Dell Command | Configure が温度、電流、および電圧プローブの現在のステータスを表示しません。

問題 : Windows 7 がデジタル署名の有効性を認識しません

説明 : システムがインターネットに接続していない場合、Windows 7 は Dell Command | Configure インストールファイルのデジタル署名の有効性を認識しません。

解決策 : システムをインターネットに接続し、デジタル署名を検証します。

問題 : BIOS インタフェースが見つかりません

説明 : Dell Command | Configure の実行中に、次のエラーメッセージが表示される場合があります : **BIOS インタフェースが見つかりません**。

解決策 : HAPI フォルダで利用可能な **hapiuninstall.bat** スクリプトを使用して HAPI をアンインストールし、同じフォルダで利用可能な **hapiinstall.bat** スクリプトを使用して再度インストールします。

問題の説明 : **.ini** ファイルの **infile** または **outfile** オプションを使用しないでください。

問題の説明 : Dell Command | Configure はアセットセット操作では、シングルバイト文字のみサポートします。

解決策 : ユーザーが異なるロケールを所有している場合は、アセットオプションを使用する前にキーボードのレイアウトを英語に変更します。

問題 : TPM 関連のトークンを別々に変更できる


説明 : Dell Command | Configure が各種の TPM PPI オプション間の依存関係を制御しません。たとえば、TPM が **オン** になっていなくても Dell Command | Configure で **TPM PPI ACPI** オプションを変更することができます。

 **メモ:** これによる BIOS への悪影響はありません。

問題 : 依存オプションが、レガシーオプション ROM と安全起動のための UEFI モードで設定された通りに機能しない

説明 :

- 安全起動がオンの場合、Dell Command | Configure はレガシーオプション ROM を有効にできます。
- 起動モードがレガシーの場合、Dell Command | Configure はレガシーオプション ROM を無効にできます。
- レガシーオプション ROM が有効で起動モードが UEFI の場合、Dell Command | Configure は安全起動を有効にできます。
- 安全起動が無効の場合、Dell Command | Configure は安全起動を列挙できません。

 **メモ:** これによる BIOS への悪影響はありません。この問題は BIOS の次回のバージョンで対処されます。

問題 : Blinkpsu1led と Blinkpsu2led が .ini ファイルまたは SCE にない

説明 : Blinkpsu1led と Blinkpsu2led が enable-only トークンで数秒間しか有効にならない場合、Blinkpsu1led と Blinkpsu2led は .ini ファイルまたは SCE に含まれません。これらのトークンを GUI を使用して変更することはできません。

問題 : advsm オプションがステータスをその他として表示する

説明 : ファンのいずれかが動作しない場合、advsm オプションはステータスを **その他** として表示します。

問題 : アドバンスバッテリー充電とピークシフト充電オプションが無効と表示する

説明 : アドバンスバッテリー充電オプションをサポートしないプラットフォームでは、advbatterychargecfg オプションが列挙されている場合、システムはオプションを無効として表示します。

ピークシフト充電 オプションをサポートしないプラットフォームでは、peakshiftcfg オプションが列挙されている場合、システムはオプションを **無効** として表示します。

問題 : アドバンスシステム管理オプションの温度プローブが不明として表示される

説明 : アドバンスシステム管理 オプションをサポートする一部のプラットフォームで、すべてのセンサーの温度プローブが **不明** として表示されません。

 **メモ:** この問題は BIOS の次回のバージョンで対処されます。

問題 : アドバンスシステム管理のオプションをサポートする一部のプラットフォームで、メモリセンサー 2 の温度プローブが現在のステータスを正常ではなく非クリティカルとして表示する

 **メモ:** この問題は BIOS の次回のバージョンで対処されます。

問題 : アドバンスシステム管理オプションをサポートする一部のプラットフォームで、冷却装置の非クリティカルな上限値を設定すると、CLI はアクションに失敗したことを示しているが、同じ設定は成功している

問題 : .ini ファイル/SCE で ASM (advsm) BIOS オプションを設定することができない

説明 : .ini ファイル、または SCE を使用して ASM (advsm) オプションを設定している間に、セットアップパスワードやシステムパスワードを設定または変更しないでください。

既知の問題 : グラフィカルユーザーインターフェース

問題 : システム .xml で予期しないエラーが発生する

説明 : Dell Command | Configure GUI は、テキスト入力フィールド用の印刷可能文字のみをサポートします。BIOS が印刷できない文字の場合、GUI がロードに失敗し、次のエラーメッセージ : **System.xml** における **予期しないエラー** が表示される場合があります。

解決策 : **アセット** のような BIOS オプション、および **propowntag** 値に印刷できない文字が含まれていないか確認してください。

問題 : 予期しないエラー

説明 : NET ライブラリが正常にロードされなかった場合、まれに SCE のエクスト中に、次のエラーメッセージが表示されます : **Unexpected Error** (予期しないエラー)。

 **メモ:** これは、Dell Command | Configure の機能には影響しません。



解決策 : SCE を再度エクスポートしてください。

問題 : マルチプラットフォームに X マークが表示される

説明 : ピークシフト、irsttimer、およびアドバンスドバッテリー充電 オプションのような機能をサポートするシステムでは、検証後にマルチプラットフォームがマルチプラットフォームパッケージに X マークを表示します。

問題 : .cctk をダブルクリックして GUI を開くと設定が表示されない

説明 : Dell Command | Configure GUI を .cctk ファイルをダブルクリックして開いた場合、アプリケーションにはファイルの設定は表示されません。ただし、**保存したパッケージを開く** タブの .cctk または .ini ファイルを開くと、ファイルの設定が表示されます。

問題 : Internet Explorer バージョン 7 以前ではフィードバックリンクが 機能しない


説明 : GUI のフィードバックリンクは、Internet Explorer バージョン 8 以降でのみ機能します。

解決策 : Internet Explorer 8 以降にアップグレードしてください。

インストールの必要条件

Windows のインストールの前提条件

- Dell Command | Configure のインストールファイル、**Systems-Management_Application_<SWB>_WN32_3.2.0.<build number>_A01.exe** は dell.com/support で入手できます。
- 対応する Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行しているワークステーション。
- Dell Command | Configure をインストールするシステムの管理者特権。
- GUI をインストールし実行する Microsoft .NET 4.0。

 **メモ:** Windows 7 以降のオペレーティングシステムを実行しているシステムで、Windows 機能を有効化または無効化する画面で Microsoft .NET Framework 4.0 以降を選択してください。

Linux のインストールの前提条件

- dell.com/support で入手可能な Dell Command | Configure インストールファイル、**command_configure-linux-3.2.0-<build number>.tar.gz**
- 対応 Linux オペレーティングシステムを実行しているワークステーション。
- Dell Command | Configure インストールファイルにある Red Hat Package Managers (RPMs) /Debian。

 **メモ:**

- RHEL 用のパッケージをダウンロードすると、パッケージの RPM を使用できます。
 - Ubuntu Desktop 用のパッケージをダウンロードすると、パッケージの Debian を使用できます。
- root ログイン権限。

インストール、アップグレード、およびアンインストール手順

Dell Command | Configure のインストール、アンインストール、およびアップグレードに関する詳細については、dell.com/dellclientcommandsuitemanuals の Dell Command | Configure インストールガイドを参照してください。

インストールおよび設定の注意

Windows インストールの場合

問題 : Dell Command | Configure が CTK の前のバージョンにダウングレードされる可能性があり、好ましくない状況につながる場合があります。

解決方法: Dell Command | Configure が既にインストールされている場合は、前のバージョンのインストーラを実行しないでください。


Linux インストールの場合

問題 : HAPI RPM のアンインストール中に、ファイルがないことを示す警告メッセージが表示される

そのメッセージを無視します。



デルへのお問い合わせ

 **メモ:** デルでは、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. dell.com/contactdell にアクセスします。
2. インタラクティブな世界地図からお住まいの国または地域を選択します。地域を選択すると、選択した地域内の国が表示されます。
3. 選択した国の下にある適切な言語を選択します。
4. ビジネスセグメントを選択します。選択したビジネスセグメントのメインサポートページが表示されます。
5. 必要に応じて、適切なオプションを選択します。

 **メモ:** Dell システムをご購入いただいた場合は、サービスタグを要求される場合があります。